

幡中だより

あやめ

～since 1999～

第291号

令和5年7月6日

瀬戸市立幡山中学校



## 世界に一つだけ my sweet home

瀬戸市立幡山中学校長 梶田 明敬

「帰ろうか もう帰ろうよ」これはある歌のサビの一部です。みなさん、お分かりですか？2008年にデビューし、その年のNHK紅白歌合戦に初出場した木山裕策さんの「home」です。美しい歌声が印象的です。

先日、愛知県小中学校PTA連絡協議会総会に出席しました。PTAの県の組織で、愛知県中の各校PTA代表が集まり、今年度の事業内容について協議する会です。そこでは、毎年総会に引き続き、講演が開催されます。その講師が、歌手の木山裕策さんだったのです。

＜講演ライブ テーマ:子どもの心を育てる子育て～歌を織り交ぜながら語る～＞

講演は、愛知県芸術文化センター大ホールで行われました。教科書でもおなじみの「翼をください」の歌で始まり、時折すてきな歌を挟みながら、木山さん自身の生き方、そしてご家族とのふれあいについてお話を聞きました。

もともと会社員だった木山さんは36歳の時、人間ドックで甲状腺がんが見つかります。そして同時に医者から「声が出なくなるかもしれない」と言われてしまいます。大好きな歌が歌えなくなるかという不安の中、「残りの人生をどう生きるか。」と自問自答し、自分と向き合う中で出した答えが、夢にまで見た歌手になること。

ここで真剣に自分の人生について考えたことが人生の大きな転換期となったとおっしゃっていました。また、それまでは真剣に生きて来なかったとも…。自分の命と向き合い、今後の自分について真剣に考えることで、真の自分と出会い、本当にやりたかったことを実現させたこと知り、大変感銘を受けました。

後半は、木山流子育てについてのお話でした。4人のお子さんをもつ木山さんは、「どんな時代でも強く生きていける人に育てる」ことを大切に子育てをされていました。これまでにないスピードで進化を遂げるAI、先行きが見えないウクライナ情勢など、変化が激しく予測困難な時代に生きる私たちに今必要な力こそ、「失敗しても、考え、立ち上がり、次に向かう力」だと言われ、併せて「自分で考える」ことが最強の武器だともおっしゃっていました。

木山家では「考える力」を養うために、家族恒例のティータイムで、社会で起こっていることについて、話したり、議論したりしているそうです。そして、次の4段階のステップが紹介されました。

[自分の気持ちを伝え、相手の気持ちを理解しあうために]

- ①自分の意見を発言する。
- ②相手の意見を引き出し、理解する。
- ③意見の違いについて議論する。
- ④お互いの気づきを共有する。



これが、大人と子どもの対等な立場を生み出し、子どもの自立につながっていくそうです。これを27年間継続されていると聞き、驚きました。

講演の最後は、中島みゆきの「糸」。木山さんの歌声が大きなホールいっぱいに響き、参加者は幸せのベールに包まれたようでした。「家族のつながり」、そして「人と人のつながり」の大切さを改めて感じ、「早く家に帰ろうかな。」と帰宅への足を急ぐ自分がいました。

## 学校公開日

6月10日(土)

保護者の方には分散授業参観ということでお願いするかたちとなりましたが、日ごろの生徒たちの様子を多くの方々に見ていただくことができました。当日は授業の雰囲気づくりにご協力いただき、ありがとうございました。



## 1年生・1組 瀬戸つばき特別支援学校交流会

6月14日(水)



今年度も瀬戸つばき特別支援学校中学部との交流を行いました。開会式では温かく迎えられ、その後は3つのグループに分かれて交歓会を行いました。自己紹介カードを使って互いのことを知ったり、各グループで準備されたゲームを通して交流を深めたりしました。3学期は幡山中学校に来ていただき2回目の交流会を行う予定です。

## 中総体 瀬戸・尾張旭地区大会

7月1日(土)～

土曜日はあいにくの天気での延期となった部活もありました。日曜日とはとても気温も上がり、熱中症対策をしながらの活動となりました。まだ、大会が継続している部もあり結果は異なりますが、達成感や仲間と共に培った絆、指導して下さったコーチへの感謝の気持ちなど生徒たちの胸には様々な思いがあったと思います。これからも大会が続く部活動もありますので、引き続きご声援をよろしくお願いいたします。



## 親子奉仕活動

日程:8月20日(日)8:50~9:50

夏休み期間に親子奉仕活動(校内環境整備活動)を行う予定です。生徒は出校日で通常の登校となります。ご多用とは思いますが、保護者の皆様にもご協力いただきますようお願いいたします。